

移住サポートセンターより

函館に移住された方をご紹介します。



終わりのそとで終わらない初めての函館の冬、身にしみてわかったことは凍った路面を歩く際の転倒の危険性と、屋根に積もった氷の塊が頭上から降ってくる恐怖と、この谷地頭という町は正月以外の夜はキツネ以外ほとんど誰も歩いていないということだ。



旅する雑貨屋
シャンティタウン

鹿児島県から引っ越してきました「旅する雑貨屋(Shantytown)」のシメダグンジです。去年の夏、鹿児島と宮崎の県境にあつて焼酎の名前にもなっている霧島という山から、老犬と一緒に高速道路をのんびり走って一日間、青森からフェリーに乗って三日目の朝に函館山の麓に到着しました。

シャンティタウンは、旅先で買い付けた雑貨や服を日本に持ち帰り、イベントやネットショップで買いつけた先の旅情報発信しながら販売するというスタイルでスタートした、ただただ旅がしたくて始めたお店です。ネットショップを長く運営している経験から、知り合いにサイト制作の依頼を受け時々お仕事させてもらうようになり、ありがたいことに函館に来てからもすぐに地域商店街のホームページのお仕事をいただきました。

世界屈指の観光地、函館にせつかく住んでいるので、今後は a i r b n b などの民泊やゲストハウスなどの、「宿」に挑戦してみたいと思っています。そのときのゲストや私のような移住者のための「ハコダテジン」という観光情報サイトを最近作り始めましたので是非検索してみてください。
<http://hakodatezine.com/>

鹿児島に住んでいる頃は、天気予報の北海道の気温や豪雪のニュースをほとんど海外のそれと変わらない目で眺めていましたが、まさか自分が北海道で冬を過ごす日がやってくるとは夢にも思っていませんでした。実際にやってきてみても、私にとって函館という街はやはり海外にいる感覚に近く、同じ日本語を話していても外国人と話している様な気持ちになることが多々あります。

住んでいながらも旅人と触れ合う機会が多く、常に旅人の気持ちを思

い出すことができる特別な場所です。

霧島は温泉が有名な場所です。函館に来る前はしょっちゅう色々なお湯に浸かっていたのですが、函館に来てからというものは歩いて行ける場所にある谷地頭温泉の五稜郭の形をした露天風呂「折の田々」です。早朝の谷地頭温泉の茶色くてしょっぱいお湯は腰痛持ちの私の心のオアシスです。来てすぐの頃は風呂上がりに住吉港を通過して海岸線沿いをカモメを見ながら散歩するのが好きでしたが、最近ではすぐ上空で羽の音をバサバサと響かせて函館山に帰っていくカラスの大群の迫力に圧倒されて以来、夕暮れ時には外に出て煙草を吸いながら空を眺めるのが日課になってしまいました。

少しずつ日が長くなり、長い冬が明けかけていくかと思えばまた雪が降り、雪が嬉しくてわざわざ散歩に出かけることも少なくなってきた、春はまだかと思わないでもない今日この頃。春の装い、お買い物はシャンティタウン。 <http://shantytown.net/>



雑誌スペクテイターvol.38
「赤塚不二夫 特集号」



旅人にオススメのウーファー搭載
ポータブルスピーカーBeYo

旅する雑貨屋 シャンティタウン 新店舗のお知らせ

市電通り沿いで人通りも多そうな場所に良いタイミングで巡り合っしまい、大門商店街の二画でお店を出すことにしました。元々香水屋さんで、昔は額縁屋さんだった場所だということです。

夏までのオープンを目指してがんばりますので、函館駅周辺にお越しの際はどうぞよろしくお願ひします。

住所 函館市松風町5-11

移住を考えている方へ

函館市地域交流

まちづくりセンター

移住サポートセンター

電話 0138-2219700

開設時間 9時〜21時

開設日 無休(休館日を除く)